NEWSPAPER OF KOJOKAN

KOJO TIMES

2022.06.06 Vol.1

山梨県立都留興譲館高校

２０２２年度高校総体で男子１２競技、女子9競技が奮闘

５月１１日から１３日にかけて、総合体育大会※1が行われました。男子は昨年度から順位を大きく上げ、総合成績は１８位でした！女子も卓球部・陸上部が活躍を魅せ、昨年度から順位を1つ上げ、２８位という結果となりました。どの部活動も日頃の練習の成果を十分に発揮しようと、躍進する姿にたくましさが感じられました。何事にも全力を尽くそうとする都留興譲館高校の生徒に感動を覚えました！

※　総体の各競技の結果はホームページから閲覧できます！

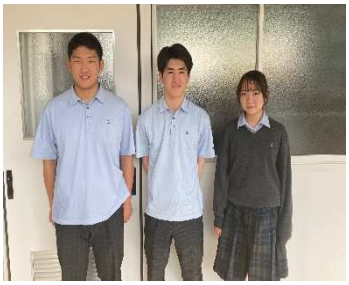
気になる人は右のQRコードを読み取ろう☞☞☞

※　14の文化局の詳細はHPでCheck!!!

※1　総合体育大会とは…
高校スポーツ最大の祭典。毎年5月に県内高校の運動部が一斉に競技を行い、競技ごと順位に応じた点数が付きます。得点の合計で学校の順位が決まります。

特集：第３位！関東大会の切符を掴んだ男子バレーボール部に迫る！

日々、精力的に活動を行っている男子バレーボール部。昨年度からベスト４へと進出を果たし、今大会では強豪校で知られる甲府工業も倒し、県３位で関東大会の切符を掴んだ。日頃から部員総勢３５名をまとめ上げる３年生たちに高校総体について聞いてみた。



左から、
部長：遠藤　蒼太　（山梨南中出身）
副部長：関戸　洸介　（都留第一中出身）
マネージャー：三澤　未藍　（上野原西中出身）

Q1.準決勝は春の全国王者、日本航空でしたが、どのような心境で戦いましたか？

遠藤…挑戦する気持ちを切らさずに戦いました。いかに自分たちのプレーをするかを常に考えて戦ってました。

関戸…相手がどのようなチームであろうと、練習してきたことを全力で出して、やるしかないと感じて戦いました。

Q2.３位決定戦、対甲府工業はどのような気持ちで臨みましたか？

関戸…関東大会、次のインターハイ予選の組み合わせにも関わってくることから自分たちにとって大切な試合であることを認識して試合に臨みました。

三澤…航空戦は自分たちの力が発揮できない場面が見ていて多々あり、悔しい思いもしましたが、甲府工業戦は自分たちらしく戦ってほしいと願い、チームに対してポジティブな声掛けを行い、良い雰囲気作りを心掛けていました。

Q3.３位決定戦勝利後の気持ち、チームの雰囲気を教えてください！

三澤…ベンチメンバーもメンバー外も関係なく、チーム全員で喜びを分かち合うことが出来て、最高の雰囲気となりました！高校生活で忘れられない瞬間となりました。

関戸…いつも4位で終わってしまい、悔しい思いをするばかりだったが、初めて3位決定戦で勝つことができ、今までの雪辱を果たすことが出来て、最高の雰囲気で高校総体を締めくくることが出来ました。

Q4.最後に関東大会への意気込みをお願いします！

遠藤…日頃から支えてもらっている多くの方々に感謝の気持ちを持ち、山梨県代表として、そして都留興譲館高校の名前を背負い、チーム一丸となって、1つ1つのプレーにこだわって戦ってきます！
1つでも多く勝てるよう頑張りますので応援よろしくお願いします！

校長先生のメッセージ

校長　小佐野　景寛

みなさん、こんにちは　校長の小佐野と申します。コロナ禍で大変な日々が続いています。粘り強く感染症対策を行いながら、この試練を乗り越えていきましょう。

今年の県高校総体では男子で12競技、女子で9競技がエントリーし、力を発揮してきました。

今年は昨年以上に躍進を遂げ、本校では7つの競技で関東大会への出場を果たします。

高校時代の部活動は生徒達の成長にとってかけがえのないものです。生徒の皆さんには、学習と部活動の両立を支援している本校で、充実した高校生活を送ってほしいと思います。

©Tsuru Kojokan High School